

# “こうすればできる”という 支援者の子どもも理解・本人の自己理解へ

単に、できないことができるようになるという意味ではなく・・・

## 「教育的ニーズ」の三つの観点

① 障がいの状態等

△△という  
困難さがあっても

② 特別な指導内容

〇〇という  
適切な指導と

③ 教育上の合理的配慮を  
含む必要な支援の内容

□□という  
必要な支援があれば・・・

本人が既にできていることや、得意なことを活かしながら、  
「なりたい自分」に近づくことができる。

不安や自己否定ではなく・・・



この“こうすればできる”を  
子ども本人が学習や経験をとおして実感する。



# 子ども本人が“こうすればできる”と自信をもって 地域で学び、生活していくために...



こうしたらできたね！  
(現在)

どうしたらできたの？  
おしえて！(過去)

あなたはほしい？  
(自己決定・将来の夢)

どうすればできると思う？  
(可能性、未来)

なぜだろう？(行動の理由・背景)

こうすればできる！を考えよう

本人に聞いてみよう！(本人中心)

## 【自己理解】

本人と支援者の  
「対話」  
/ 普段の  
言葉かけ

a?b?それともc?  
(自己選択)

自立活動等が、子ども本人がなりたい自分やWell-beingのために、「こうすればできる」(つまり、「こんな学習・練習をがんばるとできる」「こんなサポートがあるとありがたい」)を学んで、「自己理解」につながる場になる。

**自立支援・本人支援 / 自立活動**

合理的配慮

「何のための自立活動？」と尋ねられて、本人が「自分がこうなるためです」と相手に伝える。

## 【子ども理解】

本人中心  
支援者同士の  
「対話」  
/ 普段の  
振り返り

ライフステージをとおして“こうすればできる”を支援者は伝える。本人は学習や経験を通して実感する。

これらの  
“こうすればできる”  
をつなぐ

**【福祉】 サービス等利用計画・個別支援計画**

**【教育】 個別の教育支援計画・個別の指導計画**

教育・福祉で本人の  
“こうすればできる”を  
共有する。

「こうすればできる」を本人と共有する。  
「こうすればできる」という評価内容を校内、保護者、外部機関と共有する。  
「こうすればできる」をつなぐ。(評価内容を進路先に引き継ぐ)

園や学校で実際に確かめた  
「こうすればできる」という  
子ども本人にとって  
必要な指導・支援内容  
(評価内容)と  
就学先の「学びの場」が  
提供できる指導・支援内容  
とのマッチングをする。

就学

進学

入試

就労

「あなたの合理的配慮は？」と  
企業から尋ねられて、  
本人が  
「こうすればできます」と  
相手に伝える。



幼保

小



中

高



企業等

